



町税

「年収の壁」
引上げによる町
財政への影響は

「私の視点」

「年収の壁」103万円を引き上げた場合、国から減収分の全額補填が見込めない。
7年度予算編成に支障が生じるので、国に強く働きかけるべきだ。

答弁（町長） 個人町民税7.6億円、5年度の約4割の減収見込

問 個人町民税と地方交付税への影響はどうか。

答（町長）玉村町における「年収の壁」引上げによる個人町民税の減収見込み額については、令和5年度の個人町民税18億9613万円のうち、「年収の壁」を103万円から178万円に引き上げることによる減収見込み額は7億6833万円となり、約40%の減収となる見込みである。また地方交付税は、所得税減少による国の財源不足に対しては、普通交付税と臨時財政対策債を合わせることで、地方公共団体の財源保障機能により補填されると考える。

なお、町の個人町民税の減収分は、約75%が普通交付税で措置されるが、約25%（約1.9億円）は、純粋に町の収入減となる。町民税の減収分は翌年度の普通交付税に反映される仕組みのため、必要な財政措置が講じられない場合、町財政にも大きな影響が出る。

令和7年度予算編成方針

問 道路整備等の社会資本整備予算の充実強化を、6年度にも増して図ってほしい。

答（町長）玉村町公共施設等総合管理計画及び個別計画に基づいて、必要とされる社会資本整備を進められるよう、国等の補助金や、交付税措置のある地方債等を最大限に活用していきたい。公共事業費の財源として、7年度の補正財源確保の観点から、当初予算における繰越金の増額は難しいと考える。

なお、工事等発注時期の平準化などを目的と

して、ゼロ町債（現年度支出ゼロ）の活用を図っている。

アニメを活用した地域振興

問 アニメを活用した地域振興として、まず手始めにガールズ&パンツァーの映像付きコンサートを開催したらどうか。

答（教育長）映像付きのコンサートの開催は、本作品に限らず様々なコンテンツ（情報）を生み出す可能性があると考えているので、研究材料としたい。地域振興は、教育委員会だけではなく町全体として、また、県の関係課とも連携していけたらと考えている。

こんな質問もしています

・角淵キャンプ場の使用実態と環境改善について



令和5年度の角淵キャンプ場利用者は3803人（うち町外84%）。環境防災面のさらなる見守りを求む



農業

五料・飯倉地区
農地の活性化を

「私の視点」

町は、五料・飯倉地区の農地活性化を目指し、スピード感をもって着実に進めていくべきだ。

答弁（町長） 最適な農業企業の発掘を積極的に進める

問 五料飯倉地区農地利用活性化基本構想の実現に向け、今後どのように進めていくのか。

答（町長）本基本構想は、五料・飯倉地区の農地の現状を踏まえ、新たな農地の活性化を目指し、その可能性や方向性を示すもので、基本方針の実現に向けた取組みを順次進めるものである。

まず、礫の除去や破碎試験を今後行う予定である。土壌改良に有効的な手法について検討し、安定した営農の継続が期待できる圃場の基盤整備を進めていく。そして、当エリアに適した作物を選定し、新たな町の特産品となる玉村町特別奨励作物を創出する。

さらに、地域的な優位性をはじめ、まとまった一団の農地利用が可能なことなど、本地域の利点を最大限活かし、積極的に農業系企業の誘致を進めていきたい。今後は、各企業へのダイレクトメールの発送や大規模な企業立地商談会等へも定期的に参加することで、最適な農業企業の発掘を積極的に進めていく。

将来を見据えた町の組織体制

問 様々な計画の早期実現や横断的かつ総合的な業務に対応するため、町組織体制を整える考えはあるか。

答（町長）現在の町の組織体制は集中改革プランに基づく機構改革がベースとなっており、平成18年に、当時22課あった課を13課に統合した。その後、平成23年に経営企画課（現在

の企画課）を設置し、14課の体制となっている。

また、総合的な行政課題に対応するため、さらには組織を横断的にまたがるような事業については、検討委員会やプロジェクトチームを立ち上げて対応している。

これらの組織の再編により、限られた人員の中で、より効率的に業務の遂行が可能となる組織体制とし、町が直面する課題に対応しているところである。

また、毎年度の定期人事異動に合わせ、必要に応じて係の統廃合や新設も行っている。

今後、社会の変化に対応できる組織体制となるよう努めていく。



まずは新たな特産品候補の一つとしてさつまいもを研究